

柿食べば鐘が鳴るなり法隆寺 作者:正岡 子規

— 柿(かき)を食べていたら、法隆寺の鐘(かね)が鳴った。これは、明治時代、正岡子規(まさおか・しき)という人が奈良にある法隆寺というお寺をたずねたときの俳句です。柿の味。鐘の音。秋のひんやりした空気。いろいろな感覚(かんかく)がたわってきます。

おりたちて 今朝の寒さを 驚きぬ 露しとしとと 柿の落葉深く 作者:伊藤 左千夫

— 朝庭に降りて、外の空気の冷たさに驚いた。露を含んだ柿の落葉が深く降り積もっている。秋はこんなにも深まったのだなあ。

金色の ちひさき鳥の かたちして 銀杏ちるなり 夕日の岡に 作者:与謝野 晶子

— 黄色く色づいたいちょうの葉が、まるで金色の小鳥のような形をして散っています。秋の夕日に照らされている丘の上で。



柿原 喜三

(さかきばら きぞう) マンドリン

1966年名古屋大学卒業。在学中名古屋大学ギターマンドリンクラブのコンサートマスターをつとめる。1972年第3回日本マンドリン独奏コンクール第1位。1974年ベルリン国際マンドリン音楽祭に出演。1980年名古屋芸術奨励賞受賞。1984年第45回青少年音楽祭に出演しNHK教育TVで放送。その後、名古屋マンドリン合奏団のソリストとしてロシア、中国、オーストラリアへ演奏旅行。これまでリサイタル多数開催の他、各地のコンサートに多数出演。LP、CD、6枚リリース。マンドリンを故 中野二郎氏に師事。



勝林 知香

(かつばやし ちか) マンドリン

愛知淑徳高校、短期大学ギターマンドリンクラブ出身。2005年よりマンドリンを柿原喜三氏に師事。2010年第22回中部マンドリン独奏コンクールにて次位。現在、マンドリンアンサンブル「淑徳メモリー」と「名古屋マンドリン合奏団」の両団でコンサートミストレスを務めている。



中島 啓一

(なかしま けいいち) マンドラ

1972年愛知学院大学マンドリンクラブ入部を契機としてマンドリンを始める。1976年同クラブの東京公演にソリストとして参加。現在はソロ活動や指導の他、2011年宗次ホールにて開催されたザ・マンドリン合奏団にマンドラ奏者として参加する。マンドリンを故 鈴木静一氏に師事、その後柿原喜三氏に影響を受け現在に至る。第12回日本マンドリン独奏コンクールにおいて2位受賞。



柿原 悦子

(さかきばら えつこ) ピアノ

愛知淑徳高校を経て、名古屋音楽短期大学(現名古屋音楽大学)ピアノ専攻卒業。同専攻科修了。1999年第14回国民文化祭ぎふ'99で、イタリアのマンドリニスト、ウーゴ・オルランディ氏のピアノ伴奏をつとめる。ピアノを井上信子女史、青山ます子女史に師事。マンドリンアンサンブルではマンドラ・マンドセロ及び指揮を担当している。



写真deクラシック「夕映えに流れるクラシックメロディ」 2017年9月28日公演

当チラシの背景写真は、一般公募した中から、河合英輝さんの作品「秋の恵み」を使用したものです。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

宗次ホール

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業